



災害時の設備復旧プランを自動で立案します

概要

本技術は、災害時の通信サービスの早期復旧のために、ネットワーク設備の災害復旧プランを自動生成します。各設備の重要度や道路状況などの社会情報を考慮し、さまざまな観点でサービス影響を抑えることができるプランを提案することで、災害時における復旧を支援します。

特徴

- ネットワーク障害の波及影響の大小を考慮した設備の重要度算出
- 道路状況などを反映可能な最適プラン生成アルゴリズム（数理計画法、機械学習）

利用シーン

- 広域停電発生時における通信ビルへの電源車配備プランの生成
- 自然災害発生時における故障ケーブルの修理者手配プランの生成

今後の展開

- 広域停電発生時における電源車配備への適用を最初のターゲットとして2022年度の実用化をめざします。その後、他のユースケースへの適用に向けて研究開発を進めます。

コラボレーションパートナー

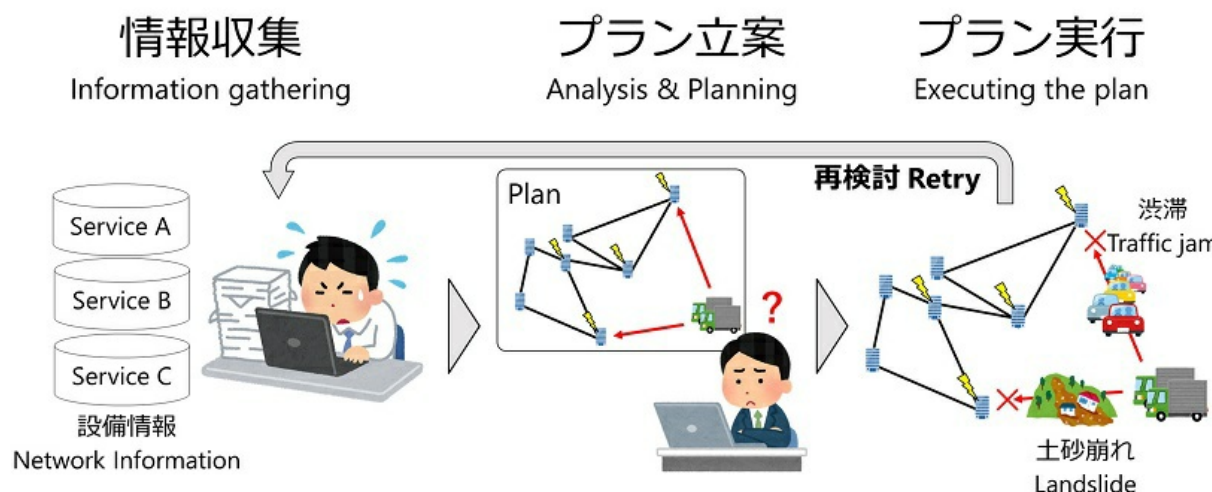
- 東京大学

出展社

日本電信電話株式会社

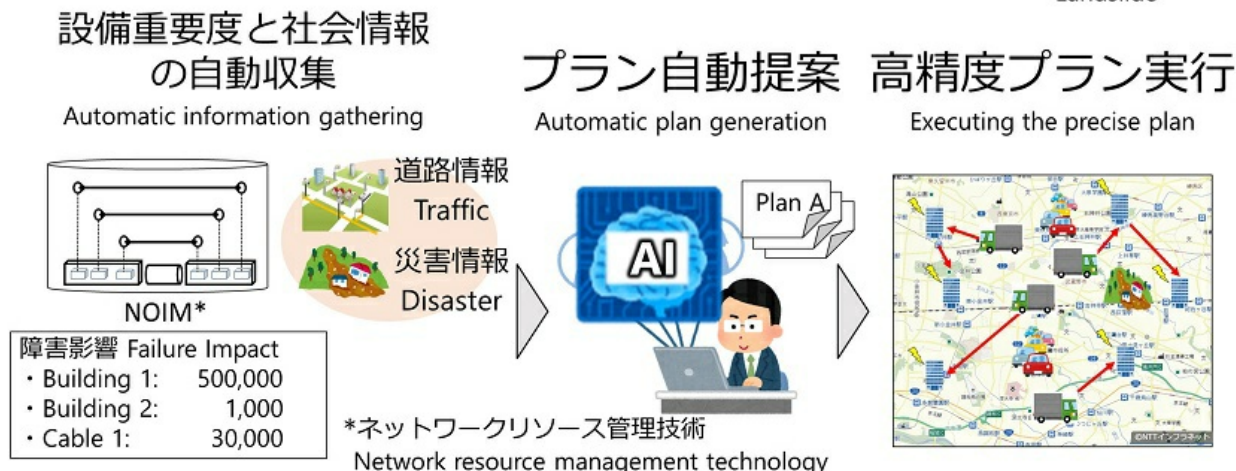
現在 Before

災害復旧プランの立案には、
ヒトの高いスキル・経験が必要
High level of human skills and
experience is required



今後 After

設備重要度や社会情報を
考慮したプランを自動立案
Automatic generation of
deployment plans and
recommendations



問い合わせ先：rdforum-nw-ml@hco.ntt.co.jp